

## サブクラス C10M に関連するインデキシング系列[4]

### 注

1. このサブクラスはサブクラス C10M に関連し、以下のものに関するインデキシング系列を構成している:

- ・グループ C10N10/00 の金属と化合物中の金属;
- ・グループ C10N20/00, C10N30/00 の潤滑組成物あるいはその構成成分の性質;
- ・グループ C10N40/00 の潤滑組成物の使用または応用;
- ・グループ C10N50/00 の潤滑組成物が使用される際の形態;
- ・グループ C10N60/00 の潤滑剤構成成分の後処理による化学的変性;
- ・グループ C10N70/00 の調製の特種な方法;
- ・グループ C10N80/00 の潤滑化される材料の特種な前処理。

2. このサブクラスにおいては、下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる:

- ・“潤滑剤”または“潤滑組成物”は切削油、作動液、金属引抜き油、フラッシング油、防錆油または類似のものを含む;
- ・“脂肪族”は“環式脂肪族”を含む。

10:00 金属自体、または化合物中に存在する金属 [4]

### 注

このグループにおいては、周期表に従って金属をインデキシングすべきである。[2010. 01]

10:02 ・第 1 族または第 11 族[4]

10:04 ・第 2 族または第 12 族[4]

10:06 ・第 3 族または第 13 族[4]

10:08 ・第 4 族または第 14 族[4]

10:10 ・第 5 族または第 15 族[4]

10:12 ・第 6 族または第 16 族[4]

10:14 ・第 7 族[4]

10:16 ・第 8 族、第 9 族または第 10 族[4]

20:00 潤滑組成物の成分の特定の物理的性質[4]

A 熱的性質、例. 凝固点、曇り点、流動点、融点、沸点、引火点、ガラス転位点 [←アニリン点]

B 光学的性質、例. X 線回折、屈折率、色相

C 比重;密度

Z その他のもの

20:02 ・粘度;粘度指数[4]

20:04 ・分子量;分子量分布[4]

20:06 ・特別な形状または大きさを有する粒子[4]

A 被覆粒子

B 繊維状

Z その他のもの

30:00 潤滑組成物を特徴づける添加剤、例. 多機能性添加剤、によって改良された特定の物理的または化学的性質[4]

A 乳化性;脱脂性、例. 乳化剤 [←オイルステイン防止、ミルクリー性、溶解性改善、油性]

B 抗乳化性、例. 乳化破壊剤

C 防水性;耐水性;非吸湿性

D 帯電防止性

E アンチミスト性

F 耐放射線性;耐 X 線性;耐光性

G 賦香;防臭

Z その他のもの [←ブレーキのアンチチャタター (消音)、スカツフイング、疲労寿命改良]

30:02 ・流動点;粘度指数[4]

30:04 ・清浄または分散性[4]

30:06 ・油性;油膜強度;耐摩耗性;耐極圧性[4]

30:08 ・耐極温性[4]

30:10 ・酸化の抑制、例. 抗酸化剤[4]

30:12 ・腐食の抑制、例. 防錆剤、防食剤[4]

30:14 ・金属の不活性化[4]

30:16 ・防腐敗性;殺微生物性[4]

30:18 ・消泡性[4]

30:20 ・色彩、例. 染料[4]

40:00 潤滑組成物が意図する特定の使用または応用[4]

A 蒸気機関;蒸気タービン [ガスタービン 40:12]

D 電動機;発電機

E フラッシング油 [←洗浄油]

G 締め付け部材;固定部材、例. ボルト、ナット、ピン [←ボルト、ナットのトルク安定性]

Z その他のもの

40:02 ・軸受[4]

40:04 ・油浴;ギヤボックス;自動変速機;トラクションドライブ[4]

40:06 ・機器またはその他の精密機械、例. 防振油 [4]

40:08 ・作動液、例. ブレーキ液[4]

40:10 ・ランニングインオイル[4]

40:12 ・ガスタービン[4]

40:13 ・・航空機タービン[5]

40:14 ・電氣的または磁氣的用途[4]

40:16 ・・誘電的;絶縁油[4]

40:18 ・・磁気テープまたはディスクへの記録に関連した[4]

40:20 ・金属加工[4]

A 熱処理油、例. 焼入油

Z その他のもの

40:22 ・・材料の本質的除去をともしないもの[4]

40:24 ・・材料の本質的除去をともしないもの;パンチング[4]

A アルミニウム;アルミニウム合金、例. ジュラルミン [←軽質合金]

Z その他のもの

40:25 ・内燃機関[5]

40:26 ・・2 サイクル[4, 5]

40:28 ・・ロータリー[4, 5]

40:30 ・冷凍機用潤滑剤[5]

## C 1 0 N

- 40:32     ・ワイヤ、ロープまたはケーブル用潤滑剤  
          [5]
- 40:34     ・潤滑シール材[5]
- 40:36     ・離型剤[5]
- 50:00     潤滑される材料に使用されている潤滑剤の  
          形態[4]
- 50:02     ・後で蒸発して潤滑剤塗布層を残すような  
          担体に溶解または懸濁させたもの[4]
- 50:04     ・エーロゾル[4]
- 50:06     ・少なくとも使用条件の間はガス相[4]
- 50:08     ・固体[4]
- 50:10     ・半固体; グリース状[4]
- 60:00     潤滑組成物の構成成分の化学的後処理[4]
- 60:02     ・還元, 例. 水素添加[4]
- 60:04     ・酸化, 例. オゾン化[4]
- 60:06     ・エポキシドによる[4]
- 60:08     ・ハロゲン化[4]
- 60:10     ・硫黄またはいおう含有化合物による[4]
- 60:12     ・りんまたはりん含有化合物, 例.  $PxSy$ , による  
          [4]
- 60:14     ・ほう素またはほう素含有化合物による[4]
- 70:00     特別な調製方法[4]
- 80:00     潤滑化される材料に対する特殊な前処理,  
          例. 金属のリン酸塩処理またはクロム酸  
          塩処理[4]